



バン格拉デシユに恋して

私たちにあまり馴染みのない南アジアの国、
バン格拉デシユを紹介합니다。

vol.15



テロを生み出した背景②

アメリカではトランプ氏が劇的な勝利を収め、その期待感から株価が大きく上昇しています。しかしその一方で行き場を失った難民や弱者がどれほどの不安と哀しみを抱いているのか、そして私はその現実をどれだけ理解できているのか・・・。

先日、バン格拉デシユで青空教室を一緒にしていた仲間からメールが届きました。彼はダッカ大学を卒業し外資系企業に就職した優秀な青年ですが、バン格拉デシユでは少数派のヒンドゥー教徒で、私達日本人には理解できない苦悩が彼のメールには溢れていました。

「親愛なる素子、元気にしていますか？7月に起こったテロの事をあなたはまだ覚えていますか？あのテロで私の人生観は大きく変化してしまいました。生まれて初めてこの国に嫌悪感を感じました。

僕たちは今も時々青空教室を開催していますが、あんなに素直で内気だった生徒達がヒンドゥー教徒の僕に対して反抗するようになりました。素子、僕達はいつも子ども達に、人間は平等だと教えてきましたよね。しかしそれは有り得ない事なのです。実際僕は今、幼い子ども達にさえ差別を受け、自分の国で生きて行く事が怖いと思っているのです。」
来年1月バン格拉デシユ渡航を検討している私にとって、彼からのメールは何とも重いものでした。



バン格拉デシユでのテロを報じた新聞

ホームページでも見れます!

ローズマリー 八代

検索

ご感想お待ちしております!

鶴田 素子さん

八代市のローズマリー紅茶店オーナー。50歳で大学院に再入学し、開発経済学を専攻。途上国の貧困削減のためフェアトレードを推進する。